

公表	保育所等訪問支援事業所における自己評価総括表
----	------------------------

○事業所名	LEGON Kids谷町		
○保護者評価実施期間	2026年1月22日		～ 2026年2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2026年1月21日		～ 2026年1月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○訪問先施設評価実施期間	2026年1月22日		～ 2026年2月13日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所等訪問支援に専門職が対応し、専門的な目線で進めることができている。	児童の課題や気になる点について保護者に聞き取りを行い、職員間や学校-デイ間で取り組みや支援方針の共有を行っている。	訪問時の児童の様子や学校の先生との話を職員間で共有し、全職員が日々の支援にも生かせるように取り組んでいく。
2	訪問支援を定期的に行うことで学校や保護者との連携を深めている。	学期ごとや月に一回等、児童に合わせて訪問頻度を決め実施することで成長に寄り添った支援を行っている。	訪問後、速やかに保護者にフィードバックを行うことで、学校、デイ、保護者の全体で随時統一した支援が行えるよう取り組んでいる。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日程調整に時間がかかっている。	学校とデイで都合のつく時間帯が合いづらく、円滑に日程調整を進めることが難しい。	電話での連絡だけでなく、児童のお迎え時に直接やり取りを行うなど日程の合意がとれる場を設け開催に向けて動いていく。
2	専門職員不在時の専門的な目線での日々の支援への落とし込み方	職員の知識や支援方針が統一しきれておらず、支援内容のばらつきが生じることがある。	日々の活動において、その活動目的や方向性について専門職員が中心となって共有を行い、全職員が同じ認識を持つことで専門職員不在時も同一の支援が行えるように取り組んでいく。
3			